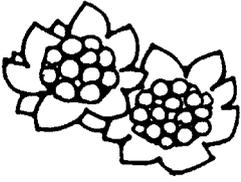


麻布幼稚園だより 3月号

平成29年2月28日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代



『幼稚園生活の最後に』

園長 大島 美知代

いよいよ園児たちにとって今年度最後の月になりました。3学期は本当に保育日数が少なく、この前3学期が始まったばかりと思っていましたが、あと3週間を残すところとなりました。

3学期は**学年のまとめの月**、そして**引継ぎの月**、来年度に向けて**ちょっぴりの不安と大きな期待**を感じる月です。

学年のまとめの月…2月には最後の参観日として「こども会」を開催しました。そして最後の学級懇談会も行いました。「こども会」には多くのご家族が見に来ていただき、わが子、わが孫が張り切って表現し、楽しそうな笑顔や生き生きとした声や動きを見せることができました。もちろん、まだ反省は残ります。だからこそ、もっと良いものを、より良いものを、と園児たちを育成する大人たちは改善するのです。

学級懇談会では1年間のまとめと次の学年の生活について、遊びの中から得る学びについて担任と十分に話し合いができたと聞いています。保護者の協力、理解なくして幼稚園の教育は進まないものです。保護者の日々の関わりに感謝いたします。

引き継ぎの月…2月から3月にかけて年中組は年長組から誕生会の司会や当番活動のやり方を教えてもらいました。年少組はあこがれの年長組と一緒に散歩に出かけ、やさしく接してもらいながら園外に出かける時の約束や園外での活動の楽しさ、過ごし方を教えてもらいました。幼稚園では最高学年の年長組の存在は大きなものです。いろいろな活動の中で手本となり、麻布幼稚園を引っ張ってくれています。これも保護者が園児たちを支えてくださったからだと思います。

ちょっぴりの不安と大きな期待を感じる月…先日「朝日新聞」に交通事故についての記事が掲載されていました。「一番交通事故に合う子供は6、7歳児、それも学校の帰りや自分一人で遊びに行く時、午後3時頃…。どちらかというとも男の子が多い。児童が交通ルールを守っていても事故に遭う時がある」という記事です。年長組は今まで保護者とともに歩いていた道を今度は自分一人で歩いて出かける、小学校から友達と一緒に帰る」ことになり、自信を付け、行動範囲も広がるからです。これは年中組にも言えることです。「もも組じゃない、さくら組になった！」と嬉しくて自信を付けるのは同じです。不安もあるけれど、園児たちは「大きくなるって素敵なこと」だと感じています。このように大きな期待をもち、次の成長につなげていけるようにしていきたいと思えます。園児を見守る大人の役割は、園児自身が自分の身の安全に注意できるように、と同時に自分でできた、自分はすごい、と自己肯定感をたくさん感じるようにしていくことです。

PTA活動では、PTA会長、副会長を中心に園児のため、幼稚園の教育活動のため力を結集して取り組んでいただいたこと、本当に感謝申し上げます。特にPTA役員の皆様は我が子の保護者というだけでなく、幼稚園のために、幼稚園のみんなのために力を尽くしてくださいました。このご支援は忘れません。PTA活動も園児と同様、**まとめ**をし、**引き継ぎ**をし、**ちょっぴりの不安**を感じつつ、来年度により良い活動ができるよう、**大きな期待**をもって準備を進めています。

また、来年度も素敵な麻布幼稚園、いつでも遊びに来られる麻布幼稚園であり続けられるように、教職員一同、力を合わせていく覚悟です。